SHITARA DAM

設楽ダムだより

第155号
工事現場特集
2023. 8

付替県道瀬戸設楽線
新松戸橋 特集

便利になったと喜んでもらいたい。地域の活性化にもつながってほしい。

株式会社大林組の皆さんに聞く

設楽ダム建設に伴って、ダム貯水池の上や周囲に大小37の橋が架かります。中でも、松戸と田口をつなぐ付替県道瀬戸設楽線の「新松戸橋」は、最も長い橋となります。今回は、新松戸橋の橋脚の工事を手掛けている株式会社大林組の皆さんにお話を聞きました。

インタビューに応じていただいている株式会社大林組の皆さん

－設楽ダム本体の建設地のすぐそばで施工中の新松戸橋の橋脚ですが、2つの橋脚のうち、片方の工事は完了したようですね。

私たちが施工している橋脚のうち、田口側のP2橋脚の工事は7月上旬に完了し、松戸側のP1橋脚は11月に完了予定です。最終的にP1橋脚は64メートル、P2橋脚は53メートルの高さまで施工します。少し工法の話をすると、この橋脚の工事では、足場と型枠が施工にあわせて上に登っていくクライミング工法を採用しています。ただ、この橋脚は下から上にかけて少しずつ細くなっていく、いわばハの字のような形状になっていて、中も空洞になっているんです。この形状でのクライミング工法は非常に珍しいため、当初はどのように施工すればよいか、かなり頭を悩ませましたね。

－大林組の皆さんには、若い方が多いですね。

これからの建設業界を見据えれば、若手の活躍は欠かせません。この現場には６名の社員がいますが、そのうち４名は入社１年目～５年目の若手社員で、１名はベトナム国籍なんです。

現場には彼らより年上の作業員の方が多いのですが、遠慮せずに常日頃からコミュニケーションを取るように言っています。作業員の方たちにも、安全や品質、施工のノウハウをどんどん彼らに教えてあげてほしいと伝えています。モノをつくるのが私たちの仕事ですが、モノをつくるのは結局はヒトであり、みんなでつくりあげるものなので、現場でのコミュニケーションはとても大切なんです。

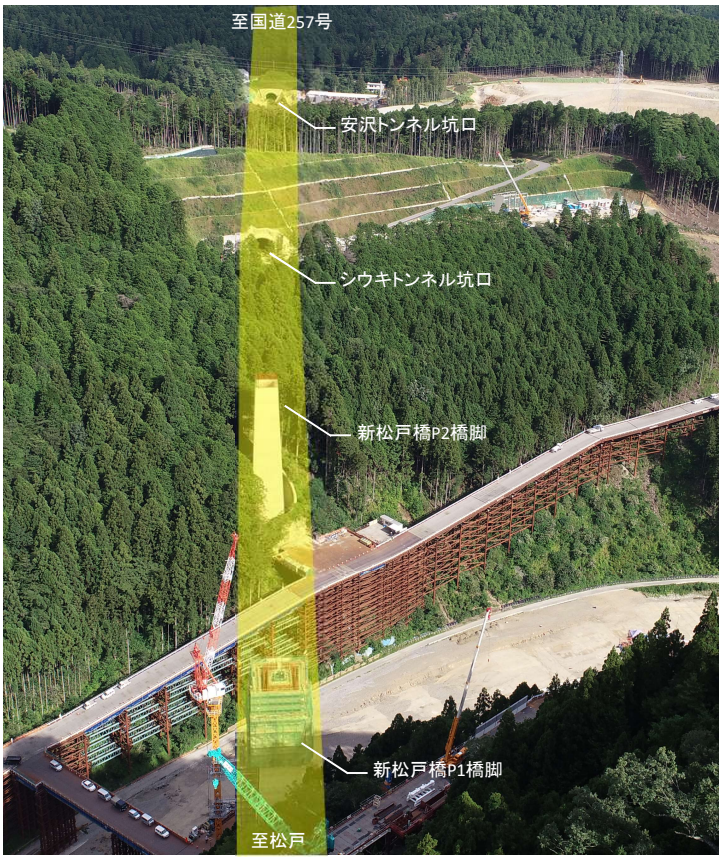
建設業を次世代へつないでいくためには、若手の活躍が欠かせないと語る監理技術者の花井さん

– ところでゴックさんはベトナム国籍で入社2年目とのことですが、実際に働かれてみて、どう感じているでしょうか。

私は日本の大学で土木を学び、大林組に入社しました。母国のベトナムでは浸水や地盤沈下の被害が問題となっており、将来的には土木先進国の日本で学んだ最先端の技術で母国に貢献できたら良いなと思います。

この現場で日々自分が関わっていく中で、徐々に橋が出来上がっていく姿を見ることができるのはとても魅力的に感じます。

最初は苦労したが、最近では作業員の方に自ら積極的に話しかけているというゴックさん（写真右）



付替県道瀬戸設楽線（新松戸橋から安沢トンネルまで）

– 将来新松戸橋を利用される方に向けて、皆さんの想いをお聞かせください。

同じモノをつくることでも、例えばマンションや戸建て住宅の場合と違って、橋などのインフラは不特定多数の方々が利用されます。そのため、利用される皆さんと直接的に接する機会がなかなかありません。ですが、この地域の方や利用される方に、この橋をつくってもらってよかった、便利になったと喜んでもらえれば最高ですね。

それと、こういったインフラが整備され、つながっていくことにより、地域の活性化にもつながっていってほしいです。

左が松戸側のP1橋脚（施工中）、右が田口側のP2橋脚（工事完了）　※Pは橋脚を意味するピア（Pier）の略

ダム情報

身近な川の天然記念物！

寒狭川にはネコギギという天然記念物が生息しています。しかし、夜行性で昼間は石の隙間に身を寄せているため、なかなかその姿を見ることができません。そんなネコギギを、子供たちや地域の方々に見て、知ってもらおうと、7月30日に新城市布里の風巻苑周辺で開催された寒狭川下漁業協同組合主催の“川にあつまれ～！”にてネコギギの生体展示を行いました。

展示を見学しに来た親子の中には、初めてネコギギを見た方もいれば、「ネコギギは知っているよ」「去年も見に来たよ」と既にご存じの方もいるなど、多くの方に注目していただきました。

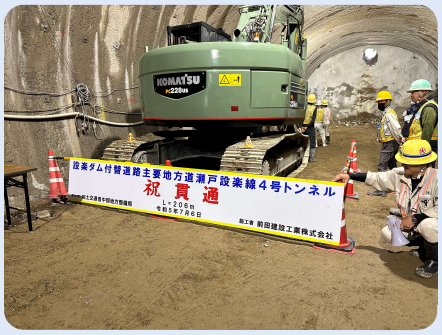
さらに今年は、より身近に感じていただくために川の中を360°見ることができるVR体験を用意しました。川の中のリアルな視点から上下左右と自由自在に見ることができるVR体験を楽しんでいただき、「あ、ネコギギがいる！」「ほんとうに川の中にいるみたい」などの声が聞かれました。

今後も、身近な川の魅力や寒狭川にすむ生き物を楽しみながら知っていただけるような機会をつくってまいります。

新松戸橋へとつながるシウキトンネル貫通！

本号で特集した新松戸橋。その新松戸橋とつながるシウキトンネルが令和５年７月６日に貫通しました。シウキトンネルは、付替県道瀬戸設楽線の延長206ｍのトンネルで、新松戸橋側を起点に掘り進めてきました。 安沢トンネルと新松戸橋とあわせて、国道257号から松戸へとつながる道となっていきます。

*本号特集の写真「付替県道瀬戸設楽線（新松戸橋から安沢トンネルまで）」もあわせてご覧ください）



国土交通省中部地方整備局 設楽ダム工事事務所 HP https://www.cbr.mlit.go.jp/shitara/

新城庁舎
〒441-1341 新城市杉山字大東57
総　務　課 TEL (0536)23-4331 FAX (0536)23-4401
用地第一課
用地第二課 TEL (0536)23-4387 FAX (0536)23-4408

設楽庁舎
〒441-2301 北設楽郡設楽町田口字川原田1-2
工　務　課 TEL (0536)62-1290
調　査　課 TEL (0536)62-1292 FAX (0536)62-1291
工　事　課 TEL (0536)62-1293